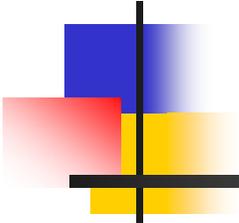
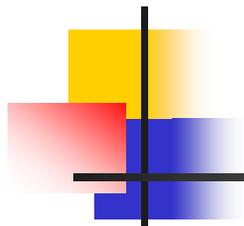


JAバンク岡山における 地域密着型金融の取組状況 (平成26年度)



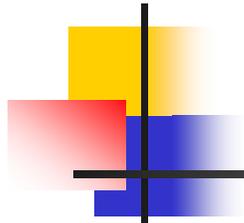
平成28年1月

農林中央金庫岡山支店



JAバンク岡山(JA・農林中央金庫岡山支店)では、農業と地域社会に貢献するため、平成22～24年度に続き、平成25～27年度JAバンク岡山中期戦略に基づき、地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

平成26年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。



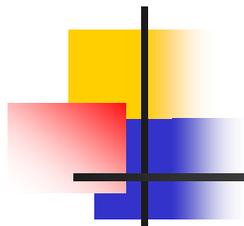
目次

- I 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援（JAバンク岡山の農業メインバンク機能強化への取り組み） … P. 4

- II 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援 … P. 11

- III 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の提供 … P. 15

- IV 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献 … P. 18



I 農山漁村等地域の活性化のための融資 をはじめとする支援 (JAバンク岡山の農業メインバンク機能 強化への取組み)

農業融資商品の適切な提供

- JAバンク岡山は、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱い、各種プロパー農業資金の提供を通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- 平成27年3月末時点のJAバンク岡山における農業関係資金残高(注1)は130億円、日本政策金融公庫等の受託貸付金(注2)残高は110億円となっています。

(注1) 農業関係の貸出金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関係する事業に必要な資金等が該当します。

(注2) JAバンクが農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。

農業融資残高（営農類型別）

【営農類型別農業資金残高】

単位 百万円

営農類型	平成27年3月末
農業	12,733
穀作	5,390
野菜・園芸	903
果樹・樹園野菜	583
工芸作物	20
養豚・肉牛・酪農	658
養鶏・鶏卵	18
養蚕	0
その他農業(注1)	5,163
農業関連団体等(注2)	270
合計	13,004

(注)

- 1 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。
 2 「農業関連団体等」には、JAや全農とその子会社等が含まれます。

農業融資残高(資金種類別)

【資金種類別農業資金残高】

単位 百万円

種 類	平成27年3月末
プロパー農業資金(注1)	3,284
農業制度資金(注2)	9,720
農業近代化資金	1,081
その他制度資金(注3)	8,638
合 計	13,004

(注)

1 プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。

2 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンクが低利で融資するもの、③日本政策金融公庫が直接的または間接的に融資するものがあり、ここでは①および③の転貸資金と②を対象としています。

3 その他制度資金には、農業経営改善促進資金(新スーパーS資金)などが該当します。

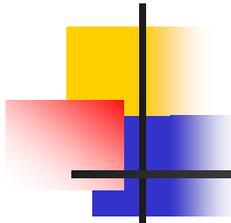
【農業資金の受託貸付金残高】

単位 百万円

種 類	平成27年3月末
日本政策金融公庫資金	10,961
その他	0
合 計	10,961

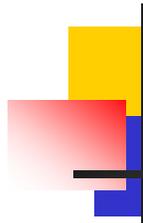
(注)

JAバンク岡山では、主にはJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。



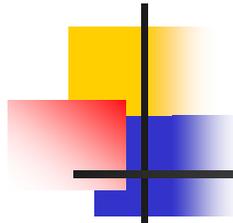
担い手のニーズに応えるための体制整備

- JAバンク岡山では、地域の農業者との関係を強化・深耕するための体制整備に取り組んでいます。
- JAでは、本支店の農業融資担当者が、農業融資に関する相談対応を実施しています。また、県内全てのJAに合計57名の「担い手金融リーダー」を設置し、本支店の活動をサポートしています。
- 農林中金岡山支店では、「県域農業金融センター機能」として、農業法人等への融資相談機能のほか、JAの農業融資機能強化に向けた取組みを様々なかたちでサポートしています。



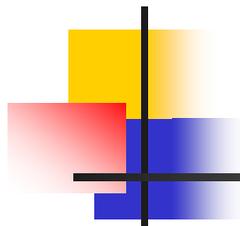
農業法人等とのコミュニケーション強化の取組み

- 農林中金岡山支店は、JAバンク岡山を代表し、岡山県農業経営者協会への加盟を契機に、地域農業の有力な担い手である農業法人等の経営者の皆様と活発に交流を深めています。
- 農業法人等の経営者の皆さまからは、資金のご相談に限らず、JAバンク岡山が今後果たしていくべき役割等についても貴重なご意見をいただき、JAバンク岡山の業務運営に活かしています。



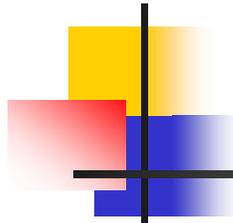
農業者の満足度向上に向けた取組み

- 農業者向け農業金融にかかるアンケート調査を実施し、その結果をJAバンク岡山の取組みに反映し、満足度向上に努めています。
- 6次産業化に取り組む農業法人をサポートするため、県組織として「JAグループ岡山6次産業化促進対策協議会」を立上げ、お手伝いしています。
- また、成長過程にある農業法人に活用いただけるアグリシードファンド等により、26年度は3法人様に資本提供いたしました。



Ⅱ 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

- JAバンク岡山は、担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取組みを行っています。



新規就農者の支援

- JAバンク岡山では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金などを取り扱っています。

【平成26年度 新規就農者をサポートする資金の実績】

単位 件・百万円

	実行件数	実行金額	平成27年3月末残高
就農支援資金	3	14	256

- 平成22年度から、JAバンクアグリサポート事業の一環として、新規就農支援事業を創設し、新規就農希望者(研修生)の育成を行う農家等に対して費用助成を実施しています。

経営不振農業者の経営改善支援

JAバンク岡山では、経営改善が必要な農業者に対し、農家負担軽減支援特別資金をはじめとする負債整理資金の対応や、関係機関と連携した経営再建にかかる会議等の開催を通じ、経営改善・再生にかかる支援を行っています。

【平成26年度の農業者の経営改善支援等の取組実績】

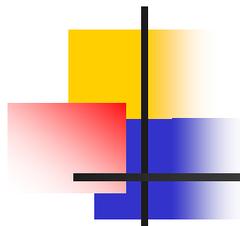
	期初経営改善 支援取組先 A	Aのうち期中 再生計画策 定先 a	Aのうち期末 債務者区分ラ ンクアップ先b	Aのうち期末 債務者区分 不変先 c	事業計画 策定率 a/A	ランクアップ 率 b/A
正常先	13	0		13	0.0%	
要注意先	1	0	1	0	0.0%	100.0%
破綻懸念先	4	0	0	1	0.0%	0.0%
実質破綻先	3	3	0	2	100.0%	0.0%
破綻先	0	0	0	0	—	—
合計	21	3	1	16	14.3%	4.8%

セミナーの開催

- JAバンク岡山では、農業者向けのセミナー等を開催することで、情報交流を促進しています。平成26年度は、「JAグループ岡山6次産業化推進セミナー」を関係団体と共同開催いたしました。
- 27年度も引き続き農業者向けのセミナー等を開催してまいります。

【平成26年度 セミナー等開催実績】

セミナー名	参加対象者	参加者数	主催者	内容
JAグループ岡山6次産業化推進セミナー	農業者・行政関係者等	100名程度	JAグループ岡山6次産業化促進対策協議会(岡山県中央会, 全農岡山県本部, 全共連岡山県本部, 農林中金岡山支店)	講演題目 「6次産業化及び農林漁業成長産業化ファンド」, 「6次産業化の現状と課題」, 「岡山県6次産業化サポートセンターの支援について」, 「JA6次化ファンドについて」



Ⅲ 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の提供

- JAバンク岡山では、ファンドの活用を含め、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

負債整理資金による経営支援

- JAバンク岡山では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【平成26年度 負債整理資金貸出実績】 単位 百万円

	平成27年3月末残高
農業経営負担軽減支援資金	43
畜産特別資金・その他	56
合計	99

・農業負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

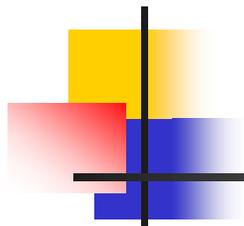
・畜産特別資金等は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

農業融資への利子助成の実施

- JAバンク岡山における、農業者に対する農業近代化資金、JA農機ハウスローン、新スーパーS資金等の融資について、農業振興等に貢献するために創設されたJAバンクアグリ・エコサポート基金から最大1%の利子助成を行い、農業担い手をサポートしています。

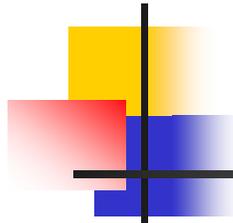
【平成26年度 岡山県における利子助成実績】 単位 件・千円

	平成26年度	前年度比
件数	158	+53
助成額	3,947	▲648



IV 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

- JAバンク岡山では、地域社会に貢献するため、次の取り組みを行っています。



JAバンク食農教育応援事業の展開

- JAバンク岡山では、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、農業に関する教材の配布や農業体験学習の受入れなどに取り組んでいます。
- 教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAを通じて平成26年度には県下の小学校へ、21,298セットを寄贈し、学校の授業等において活用されています。
- 県内各地のJAでは、食農教育などの実践活動が取り込まれており、これらの取組みに対して、JAバンクアグリ・エコサポート基金から費用助成を行ってサポートしています。平成26年度に岡山県では、35件の取組みに対して、10,637千円の助成承認が行われました。